



木桶蒸留器を模した休憩所を製作する宮崎県建築士会都城支部員と都城高専生
|| 都城中町

木桶蒸留器の休憩所



市立図書館に設置

宮崎県建築士会都城支部と都城工業高等学校建築学科は、木桶蒸留器の形をした休憩所を作り、都城市中心市街地にある市立図書館2階テラスに設置した。かつて都城の焼酎づくりで使われたものを模した。高さ2.5m、直径1.5mで大人3人が入ることができ、「気軽に使って」と呼びかけている。

都城市立図書館2階テラスに置かれた木桶蒸留器を模した休憩所と製作に関わった都城高専生

両者が街の居場所づくりと建築の魅力発信を目的に、2023年度から始めた市民参加型のイベント「みんなの建築」の一環。「肉と焼酎のまち」をうたう市の象徴として考案された。使う素材は異なるものの、関係者は本物の木桶蒸留器を作る津留安郎さん(63)に曾於市を訪ねて製

都城高専生・建築士会 職人に学び手作り

作手法を学んだ。若潮酒造(志布志市)では、津留さん製作の実物も見学した。

2月22日にあり、建築士会員や高専生が曲げベニヤやスギ材を加工。子どもたち約20人が飛び入りでカビ防止剤を塗る作業などを手伝った。

休憩所は分割して持ち運び可能。3カ月間、同テラスに置かれる予定だ。建築士会都城支部の川崎拓人(青年部長、35)は「図書館での勉強の息抜きなどに気軽に使ってほしい」。初参加した田尾匠海さん(16)は「街の活性化につながる活動で、形にしているのが楽しかった」と話した。(深野修司)